

麻績村の教育方針に関する研究検討委員会

「第13回保育園・学校部会」 会議録

日時 平成31年2月28日 午後5時00分

場所 地域交流センター 第2研修室

出席委員 市川祥介(麻績村教育委員) 小山正文(麻績村教育委員)
宮川裕満(学校組合教育委員) 中原 敏(筑北中学校長)
清沢 剛(筑北中学校教頭) 福田弘彦(麻績小学校長)
北條泰瑞(麻績小学校教頭) 鳥海 康(麻績小学校教務主任)
臼井孝夫(麻績保育園長) 柳澤友則(麻績小学校PTA会長)
刈間伸一(麻績小学校前PTA会長) 小山芳道(筑北中学校前PTA会長)

欠席委員 宮下智恵美(筑北中学校教務主任)
山本一義(筑北中学校PTA副会長)

教育委員会事務局 飯森 力(教育長) 臼井太津男(教育次長) 尾和正行(主事)

1. 開会

教育次長：定刻となりました。麻績村の教育方針に関する研究検討委員会第13回保育園・学校部会を始めさせていただきます。よろしくお願いいたします。それでは部会長あいさつをお願いいたします。

2. 部会長あいさつ

部会長：あらためましてこんばんは。仕事でお疲れのところ、また保育園、小中学校の先生におかれましては、多忙な時期にご参集いただきましてありがとうございます。昨日の学校組合議会のことで後ほど教育長さんから話がありますが、私たちは村の子どもたちのためになすべきことを着々と進めていきたいと思っています。よろしくお願いいたします。

さて、2月22日に「はやぶさ2」が地球から3億4千キロメートル離れた6メートル程度の狭い場所に着地したという成功のニュースが報じられました。この成功は、チームワークの力だと解説がされ

ていました。必要な情報を共有しあい、協力しあう姿が放映されてきて得心した次第であります。

過日、授業参観をさせていただきましたが、保護者の皆さんのほとんどが参加されており、ありがたいことだと感じました。授業の方は、2分の1成人式や立志式はもちろん、志あるいは夢、希望を子どもたちが述べあっておりました。保育園児の将来の夢が、発達段階により徐々に志に変わっていく姿に教育の力、また先生方やご家庭のご努力を感じ、感無量でありました。志を育てる教育がほぼ全ての教室で見られたことは、グランドデザインにある願いを全職員が一丸となって具現している証であると同時に、皆様のチームワークの証であると感じているところであります。

本日の会議は次第のとおりであります。関係者の皆様には、忙しい中具体的な資料を用意していただきありがとうございます。このご努力に報いられるように忌憚のない話し合いをお願いします。

ここで、教育長さんからお話をいただきたいと思っております。

教 育 長: 貴重な時間ではございますが、昨日の学校組合議会についての報告をさせていただきたいと思っております。学校組合議会につきましては、筑北中学校の部分になりますが、平成31年度の予算も全てお認めいただきました。これによりまして、平成31年度の筑北中学校の運営もしていくこととなります。この予算については、平成31年度が最後の予算となります。2020年度からは村立の中学校という形となります。一般質問もございまして、2名の方が一般質問をされた訳ですが、一人の方は、「中学校の今後について」ということでした。これにつきましては、学校組合で答弁するものではございませんでしたので、その辺のご理解をいただいたものであります。もう1点は、「部活動について」でありましたが、来年度入学者の確認をする中で進めていく部分でありましたので、そのような状況も踏まえ答弁をさせていただいた次第であります。子どもを第一に考えていきたいと思っていますので、よろしく願いいたします。

今朝の新聞を皆さんお読みになったと思いますが、請願が出され、議会の中で請願が採決されています。これにつきましては、「聖南中学校との統合を含めた筑北中学校のより良い将来像の検討を求める請願書」ということで学校組合議会議長あてに出されております。

議会の中でも、これからの協議をどのように進めるかということになるかと思いますが、皆様方には1年以上前から検討をしていただいている部分でありますので、今までどおり進めていただければと考えております。学校組合議会の中でも賛否意見が出され、「学校組合議会でやることではない」という意見もありました。「小学校の5人や10人と少ないクラスを今後どのようにしていただけるのか」ということが一番心配な部分だと思いますが、この部会では異学年交流等の色んな交流を含め、研究・検討をしていただいておりますので、皆様方はこのことは心配せずに今までどおり進めていただければありがたいです。よろしく願いいたします。何かございましたら、私どもの方にお知らせいただければお答えをしたいと思いますので、よろしく願いいたします。

部会長：私たちは、保小中一貫教育を追及していくという立場で進めておりますので、今まで進めていたことが無になるということがありませんので、従来どおり進めてまいりたいと思います。

3. 協議事項

教育次長：それでは、協議事項に入りたいと思います。協議につきましては、部会長に進行をお願いいたします。

(1) 前回の部会(2/1)の再確認

部会長：それでは、前回の部会の再確認ということで事務局から説明をお願いします。

教育次長：それでは、前回の部会の確認をさせていただきます。前回は、2月1日に開催した訳ではありますが、平成32年度に向けてということで中学校の村立化の構想についての説明をいただき、皆様で協議していただいた部分でございます。学力向上リーフレットについては「毎年改正していく」ということで平成31年度版(案)についてご確認いただきました。また、リーフレット周知の課題ということで協議いただき、村の広報や参観日等の具体的な意見をいただいた部分で

あります。その他に、保護者からの意見・要望ということで特にリーフレットについてのご意見を中心にいただいた部分でございます。

部会長：よろしいでしょうか。それでは、次に移ります。

(2) 平成31年度 各分散会の取組について

部会長：それでは、平成31年度各分散会の取組についてお願いします。

教育次長：平成31年度麻績村保・小・中一貫教育の取組一覧をお配りしております。「取り組むこと」、「検討すること」、「翌年度以降検討したいこと」について、分散会ごとにあげてもらったものであります。今回は、小学校と中学校についてそれぞれ記載していただいております。昨年度も、同様に行っていただいておりますが、できるところからすぐにやるということをやっているという形になりますので、今回につきましても、年度途中であってもやっていくという形になると思います。資料をお読みいただき、具体的な説明は分散会ごとにお願ひできればと思います。

部会長：説明があったとおり、平成31年の4月から取り組むことが書かれていますが、年度途中であってもできるところから取り組んでいただければと思います。

分散会ごとに、特に強調したい要点の説明をいただきたいと思います。それでは、学力向上お願いいたします。

委員：リーフレットについて、前回に確認いただいておりますが、若干手直しが必要な部分がありますので、手直しをしたいと思います。それを基に授業改善を進めることになると思います。前回もありましたが、リーフレットを家庭に周知することが課題になります。

部会長：ひととおり説明をいただいからご意見をいただくようにしたいと思います。それでは、国際理解についてお願いいたします。

委員：取り組むこととしては、資料にあるとおりで引き続き英語発表等に

力を入れていくことと小中学校の出前授業での交流があります。検討することに留学生との国際交流がありますが、実際にこの3月に在籍している生徒と関わりのあるハンガリーに手紙を出して、現地の高校生に手紙をもらうという交流を進めています。

部会長：続いて、ICT教育お願いいたします。

委員：中学校については、タブレット端末のiPadを10台ということで来年度の予算で購入する予定であります。既存のものと合わせて一人一台の授業ができればと思います。小学校についても、検討することにiPadを一人一台利用した授業ということで、来年度の予算でタブレット端末10台を見込んでおります。

事務局としては、ICT支援員をなかなかうまく活用できなかったという部分があります。学校との円滑な関係を築いてICT支援員も活用ができるようにしていければと考えております。

以前、ICT活用についてアドバイザーの先生に来ていただきましたが、今度はタブレット端末を含めて具体的な使用方法のアドバイスをいただければと考えています。

32年度以降に検討したいこととして、パソコン教室を含めた環境の整備更新が必要になってくると思います。そこに向けた具体的な計画を策定していきたいと思います。

部会長：続いて、読書指導についてお願いいたします。

委員：今年度、ビブリオバトルを実施し、「小学校の児童とも一緒にやりたい」ということで計画したことが実現できたということで、来年度も継続してできればと思います。係としては、「5、6年生に広げてもらえれば次の年に繋がる」ということも考えています。

部会長：続いて、健康教育お願いいたします。

委員：小中共通で肥満傾向が進んでいるということについて取り組むことが重要であると考えています。体力テストの結果についても情報共有することで健康課題にも繋がるという見通しで計画を進めている

ところでは。

部会長：続いて、ふるさと学習をお願いいたします。

委員：前回、小中学校を見通したキャリア教育について見ていただきましたが、実際にやってみて繋がっていくのか検証していくことになると思います。大きなものでは、中学校では職場体験学習を変更しますので、それを実施してみて考えていきたいと思います。
ふるさと学習については、来年度は麻績村と坂井地区の学習になりますが、2020年度からは麻績村が中心のものになると思います。
来年度は、過渡期の部分となって、昨年の学年はやったが、今年の学年はやらないというカリキュラムの内容が出てきてしまいますので、2020年度からは段々とまわるようになっていくと思います。

部会長：続いて、児童会・生徒会をお願いいたします。

委員：小中学校で行っていた挨拶運動や本の読み聞かせに加えて、中学校の「エコキャップ集め」に小学校の児童会が参加させていただいたということがあります。来年度につきましては、新たな交流や取り組みの話をして、取り組みそうなものを上げていきたいと思います。

部会長：「防災教育・安全教育」と「特別支援教育」、「コミュニティスクール」については資料をご確認ください。
PTA活動として何かございましたらお願いいたします。

委員：聞くところによると地区連絡員を同じ方が長い期間やっているというところもあるようなので、地区割りを考える必要があると思っています。小中学校で共通して取り組めるところもあると思いますので、そういうところがあればと考えています。

部会長：それでは、一通り説明が終わりましたので、ご意見ご質問をいただきたいと思っています。

委員：一覧表で保育園のところの空欄が目立ちますが、保育園は年齢に応

じた発達、クラスごとの相関性、そして0歳から6歳までのお子さんを預かり、園生活を送っている訳ですが、発達段階に応じた教育、保育を進めております。保育園でいう教育というところは、健康、人間関係、環境、言葉、表現というものが教育に含まれている訳ですが、どの年代に焦点を当てるかが難しいところでもあります。保育指針に沿い、「麻績村のめざす子ども像」に向けた保育をしていければと思っております。

部会長: 基になるところを保育園ではやってくださっているということですが、以前、「見える化」の話が出ましたが、リーフレットやビブリオバトル、英語の出前授業等の目に見えるものも大事に考えていただけるとありがたいです。その他にご質問ご意見はございますか。

委員: 先生方のご努力で計画を作っていただいたことありがとうございます。外国語交流という中で留学生との交流というのは非常に良いことだと思います。小さい時から交流することで違和感が無くなれば外国の方との接触が身近になると思いますので、良いことだと思います。

部会長: ハンガリーとの文通の話もありましたが、国際交流は非常に大切なことだと思います。その他によろしいでしょうか。それでは、次に移ります。

(3) 来年度の 保育園・小学校・中学校の連携事業について

部会長: 来年度の保育園・小学校・中学校の連携事業について説明をお願いします。

教育次長: 連携授業については、先ほどもビブリオバトルや文化祭、その他にも新たなものを取り組んでいただきました。それも含めて、既存で行われていること、新たな試み、その他に何かありましたら出していただいて確認ができればと思います。

部会長: まずは、欄外下に来年度の予定があります。こちらは、例年どおりの予定を組んでもらっていますが、このことについて、ご意見ござ

いますか。

委員：今後、分散会で話し合う・可能性を探り合うという中で、今までどおり予定では、なかなかさらに膨らませることが難しいと思います。話し合う中で新たなものを取り入れるということは大事にしていきたいと思いますが、「定期的に、この時期にこれをやりましょう」ということだと義務感になってしまい、意味や価値を見い出せるか疑問に思うところがあります。

今年度、ありがたく感じたのは、三校園連絡会での講演会の先生で、今後可能であればですが、外部講師という形で私たちの考え方を高めていってくださる方が入っていただけるのであればと思います。専門性のある方の話を聞くということ、また中学校では授業研究会でお招きするという話も聞きますので、その時期に合わせて会を開いて、大勢で参加するというのは難しいと思いますが、何回かに分かれて参加させていただいたり、時間の設定が可能であれば授業が終わった後に設けていただいて、そこに地域の方にも参加していただいて聞いていただくということが可能であればと思いました。あくまでも、私個人の思いですが、このままの計画で進むと行き詰まり感が出てしまうのではないかとというのが正直な思いです。

部会長：良いご意見をいただきました。この計画に囚われずに良い機会があればというご意見ですが、ご検討いただき、実施可能であれば、事務局から委員や地域の方に知らせていただければと思います。

今やっている交流授業を整理する必要があると思います。お忙しいのは重々承知しておりますが、教頭先生方をお願いすることになると思いますので、その節はお願いいたします。新年度は、それらの整理をした上で進めていければと思いますが、いかがでしょうか。

全 員：(了承)

部会長：先ほど話も出ましたが、研修の必要性を感じます。事例として「両小野」等から学ぶということも事務局で検討をしていただきたいと思います。関連して、ご意見等ございますか。

委員：学校としての枠を外して保育園から小学校、中学校と連携される部分が出てきたというのを感じますが、PTA では、小学校は小学校、中学校は中学校という形になっているのを感じます。PTA の保護者も共有する部分があってもいいと思います。例えばですが、お兄さんお姉さんのいない子が入学した時、保護者は PTA を初めて体験すると思います。中学校と連携をしていれば、先を見通した話ができると思います。保護者だけでは、なかなか抵抗があると思いますので、先生にも入っていただく必要があると思いますが、情報共有ができればスムーズにできると思いました。

部長：良いご提案をいただきましたが、その他にご意見いただけますか。

委員：保護者立場で見ると、「地域の子ども」よりも「自分の子ども」という目線で見えてしまうということはあると思います。この部会で、自分の子どもが通っていない学校に参観に行きましたが、客観的に授業を見ることができましたので、例えば、保育園の保護者さんには小学校の授業を見ていただく、小学校の保護者には中学校の授業を見る機会を取っていただくと学校でやってもらっていることを知ることができるので保護者の安心に繋がると思います。

部長：今、ご提案いただいたことをやっていただけるともっと繋がっていくと思います。その他にご意見ございますか。

委員：三校園連絡会の講演会の話が出ましたが、私も聞かせていただきましたが「もっと、保護者がいる機会にやらないのか」と思うぐらい小規模校でもメリットはたくさんあるということを理解できました。来年度も似たような機会があるのでしたら、ぜひ授業参観等に企画していただいた方が保護者の理解が深まると思います。

部長：このことについて、ご意見いただけますか。

委員：来年度、対話を大事にした授業づくりということで先生にはお願いしております。そういう研修に小学校の方でも日程が合えば一緒にやればという思いはあります。その内容と保護者に聞いてもらう

内容とは合わないように思いますので、保護者は保護者で機会が作ればと思います。

部会長：予算的なものもありますので、事務局と検討いただいて、可能であれば講師として引き続きご指導いただければありがたいです。その他にいかがでしょうか。

委員：先ほど申しました、小学校と中学校の PTA の連携という意見の中でこの地域だけでなく外部の PTA との関わりもあります。このことについても、小学校は小学校、中学校は中学校でそれぞれ出席するという事になってはいますが、可能であればその辺の外部の PTA に関するものもそれぞれの代表が出席するのではなく、連携をする中で代表の持ち方も考えれば、負担の軽減ということもできるのではないかと思います。PTA 自体も人数が減っていきますので、そういったことも必要だと考えます。

部会長：前向きなご提案だと思います。その他にございますか。よろしいでしょうか。それでは、私から 1 点お願いしたいのですが、学力向上について、前回「学校ではリーフレットについて子どもたちが 3 月末に見直す」という話がありましたが、先生から言うのではなく、子ども自身が理解して実践するというのは非常に効果のあることだと思います。小学校の低学年は難しいと思いますが、よろしく願いいたします。それでは、先に進みます。

(4) 保護者からの意見・要望等について

部会長：保護者からの意見・要望等についてご意見いただけますか。

委員：周知していないという部分もありますが、保護者の方からご意見を聞くということができていません。来年度は、「保育園・学校部会に上げる意見はありますか」ということを周知していくことで、部会に出ている保護者以外の意見もいただくことができると思います。

部会長：この協議事項については毎回出ますので、ぜひお願いしたいと思

ます。その他にご意見いただけますか。

委員：授業参観を見させていただきまして、良かったと思ったのが中学校の1年生の授業ですが、見てもらうだけじゃなくて、参加してもらう授業の内容でとてもいいことだと思います。一緒に授業をすることで、普段の授業とは違い、雰囲気や言葉遣い等も変わるので良い参観だと思いました。

小学校の参観で感じたのは、小学校の1年生ですが、教室に入っていくと「こんにちは」とあいさつをしてくれました。これは、多分保育園の頃からやっていないと出ないことだと思います。普段からやれていないとできないことだと思いますので、来てくれた方に素直に挨拶ができるということは素晴らしいと思います。

保護者は、自分の子どものことを考えた時に自分や先生たちを見ると思います。「先生の教育が良かったから」、「自分たちの教育は悪くなかった」等、自分たちや先生を対象に見ると思います。この先、一緒に教育に携わる地域の方は何を見るかということ「子どもの姿」を見ると思います。子どもの姿を見て、教育の良さを感じると思いますので、学力だけでなく、そういった姿を伸ばすということも考えていただけると良いと思いました。

部長：ありがとうございました。保護者を巻き込んだ授業というのは小規模校ならではの良さだと思います。その他にいかがでしょうか。

委員：私の思いですが、PTAの負担という部分もありますが、「できる時にできることをできる人がやる」ということを思っていて、私がPTA会長をしていた時には皆に協力してもらって、皆で作っていくものだと感じましたので、「負担だからやめてしまおう」という姿じゃなく、「協力してやっていこう」という姿を親も見せた方がいいと思います。

委員：私は、リーフレットについてですが、「リーフレットのとおりに行ったら、こういう力がついた」等のアンケートを取るということも必要だと思いました。ただリーフレットを配るだけでは見ないでそのままにしてしまう家庭もいると思います。

また、色んな計画が出されましたが、あまり広くやってしまうと形だけになってしまうものも出てしまうかもしれませんので、できるところから少しずつやっていって、その中で肉付けをしてもらうと良いと思いました。

部会長：大事なご指摘をいただきました。ぜひ、大事に考えていただければと思います。その他にご意見ございますか。

委員：協議事項とは離れてしまいましたが、会議の形式以外にも畏まった形ではなく意見交換ができる会があってもいいと思います。

部会長：ありがとうございます。私も賛成であります。そのような機会もまた作っていければと思います。その他にご意見ございますか。よろしいでしょうか。それでは、次に移ります。

(5) その他

部会長：その他に全体を通して、ご意見等ございますか。

委員：2020年度からは中学校は村立化して麻績の子どもだけになると9年間、保育園も含めればもっと長い期間同じ子どもたちになる訳ですが、その積み上げというものは比較的しやすくなっていくと思います。

近年、パソコンやスマホから子どもたちには良い情報や悪い情報、色んな情報が入ってくる訳ですが、その部分に対してどういった対処をしていくかということは小さい頃からの積み重ねが大事だと思います。

部会長：その他にございますか。よろしいでしょうか。それでは、次回の開催日程ですが、人事の関係で替わる方もいらっしゃると思いますが、予定ということで決めさせていただきたいと思います。

4. 次回開催日程

平成 31 年 5 月 7 日(火) 17 時 00 分 ～

部会長：それでは、閉会をお願いします。

5. 閉会

教育次長：長時間にわたりご協議いただきましてありがとうございます。以上で、麻績村の教育方針に関する研究検討委員会第 13 回の保育園・学校部会を閉会いたします。お疲れ様でした。

(閉会 18：24)